

■ 学校の共通目標

授業作り	重 点	○どの子も分かる授業（ユニバーサルデザイン） ○協働的な学び（対話重視）	中 間 評 価		最 終 評 価	
環境作り		○支持的風土（認め合い、支え合い、高め合う集団）を形成し、自己発揮できる環境。				

■ 学年の取組内容

学年	教科	学習状況の分析（10月）	課 題（10月）	改善のための取組（10月）	最終評価（2月）	
1	国語					
	算数					
学年	教科	学習状況の分析（4月）	課 題（4月）	改善のための取組（4月）	中間評価・追加する取組（10月）	最終評価（2月）
2	国語	<small>学</small> ノートやプリントの書かれた状況を見ると、「てにをは」や拗音、撥音の表記に誤りがある児童がまだ3割程度おり、定着していない。 <small>学</small> 新出漢字の画数が多く、誤りが多い。	○「話すこと聞くこと」については、日直等の活動や普段の授業の中で行っているが、聞こえる声ではっきり話す、聞く人に注意を向ける。 ○「書くこと」については、順序や内容をよく考えて書く。	○話すポイント、聞くポイントを繰り返し伝え、指導していく。 ○正しい言葉の表記を身につけるよう、ノート指導等で確認をしていく。手本を示しながら書く内容を考えさせ、指導していく。		
	算数	<small>学</small> ノートの書き方については、定着しているが、自分の考えや図や言葉で説明することが難しい児童もいる。 <small>学</small> 数量感覚が乏しく、繰り上がり繰り下がり計算や、時計の読み方が難しい児童が数名いる。	○図や絵で自分の考えを説明できるようにしていく。	○タイトル図、○図の書き方を復習しながら自分の考えを表現できるようにする。 ○繰り返しの計算練習を行っていく。		
3	国語	<small>調</small> 「読むこと」については平均より20ポイント近く低い。 <small>調</small> 「話すこと・聞くこと」については、平均よりやや低い。 <small>学</small> 読書が好きな児童が多い、漢字を書くことや読むことを好きな児童が多い。	○人物の心情を想像しながら物語文を読む。 ○大事なことを落とさないように静かに聞く。	○自分の読み取りの時間を確保する。発表場面では相互交流をする機会を設け、さらにノートなどに記述する。 ○話すこと・聞くことの掲示をし、意識させる。		
	算数	<small>調</small> 水の量、長さなどの量感を問う問題は平均よりやや低い。 <small>学</small> 自分の考えを表現することに苦手意識があり、さらに表現方法がやや乏しい児童がいる。	○暗記が中心になっており、量感を伴った理解が十分ではない。 ○多様な方法で考えを表現し、説明できる力を身に付ける。	○実際に図ったり、比べたりして、児童が量感を実感できる算数的活動の時間を増やす。 ○友達の考えを読み取ったり、自分の考えに取り入れたりできるように、交流する場面を充実させる。		
4	国語	<small>調</small> どの分野も区の平均点数を上回っているが、国語辞典の使い方や「書く力」が平均をやや下回っている。 <small>学</small> 物語文などの「読む力」を高める必要がある。	○書く活動が少ない。 ○語彙、想像力など豊かに表現する力が不足している。 ○漢字の習熟が不十分である。	○文章表現力は教科書を活用し、身に付けさせる。 ○単元計画の際、学期に2～3回は意図的に書く活動を入れる。 ○成長ノートや日記を通し、日頃から題材集めをし、書き慣れることを目指す。 ○一人の読み、全体交流など授業を工夫する。 ○関連図書紹介、読書カードなど読書活動に取り組みさせる。 ○小テスト、宿題で基礎学力の定着を目指す。		
	算数	<small>調</small> どの分野も区の平均点数を上回っているが、倍の問題、式と図の照合などが平均をやや下回っている <small>学</small> 計算ミスや演算決定力の弱さを感じる。 いろいろな表現方法で解決する力が不足している。	○数量関係をつかむのが苦手である。 ○先取り学習をしたり、答えだけを求めたり、解決の過程を大切にしない習慣が薄い。 ○ひき算、かけ算といった基本的な計算ミスがある。	○基準量、比較量を数直線で表し、数量関係をつかみ、立式できるようにする。 ○学期に2～3度は様々な演算の問題を集中して解かせる。 ○自力解決時に様々な表現方法で解決させる。またノートに友達の考えを書かせる。 ○ベーシックドリル、100マス計算、宿題等で基礎学力の定着を図る。		

学年	教科	学習状況の分析（4月）	課題（4月）	改善のための取組（4月）	中間評価・追加する取組（10月）	最終評価（2月）
5	国語	<p>調 「読むこと」については、正答率が全国平均より11ポイント以上高い。</p> <p>学 読書が好きな児童が多い。物語文などの読解力は高い。書く力が低い児童が数名いる。</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」では、自分が伝えたい内容、押さえたい内容が伝わるように簡潔に話したり、詳しく話したりする工夫をする。大切な部分を落とさないように聞く。</p> <p>○「書くこと」では、書く内容を明確にし、伝えたいことが相手に伝わるようにまとまりを考えて文章の構成を考える。</p>	<p>○様々な音読の仕方を経験させる。</p> <p>○国語科以外でも、意図的に「話す・聞く」場面を意図的に設ける。</p> <p>○「よい話し方・聞き方」を全体で共有しながら意識させる。</p> <p>○「成長ノート」等を通し、自分の考えや気持ちを整理しながら書く習慣を身に付けさせる。</p>		
	算数	<p>調 「数と計算」の正答率が、区・全国の平均を共に下回っていた。観点別では、数量や図形についての知識・理解が他に比べて低い。</p> <p>学 理解が遅い児童の割合が高い。</p>	<p>○数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を捉えられるようにする。</p> <p>○1時間の学習内容をしっかり理解し、わからない内容は積極的に質問する。</p>	<p>○東京ベーシックドリルを活用し基礎・基本の定着を図る。</p> <p>○家庭学習で、既習内容の反復練習を行う。</p> <p>○教え合いをさせることで全体の理解力を上げる。</p> <p>○授業前に意図的に、5分間「数と計算タイム」設け、既習内容を定着させる。</p> <p>○毎時間のねらいを明確に知らせる。</p>		
6	国語	<p>調 どの観点においても目標値および全国平均を上回っているが、活用の「表現力」が自治体平均を4ポイント下回っている。</p> <p>学 読むことへの意欲の高い児童は多い。</p> <p>学 感じたことや考えを文章にすることに苦手意識をもっている児童や、語彙が乏しく豊かに表現できない児童がいる。</p>	<p>○「書くこと」では、自分の考えを明確にし、相手に伝わるように文章の構成を考えたり、表現を工夫したりする。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」では、相手を意識して、自分の考えが伝わるように言葉を選んで話す。大切な部分を落とさずに聞き、聞いたことに対して自分の考えをもつ。</p>	<p>○国語に限らず、どの教科においても学習感想として自分の気付きや考えを書くことで、自分の考えを文章で表現する力を身に付けさせる。</p> <p>○学習規律としての話の聞き方を徹底し、安心して話ができる学級づくりをする。</p> <p>○朝の会や帰りの会、学級活動においても「話す・聞く」活動を設定し、どの児童もその経験を積み重ねられるようにする。</p>		
	算数	<p>調 「基礎」「活用」共に自治体平均および全国平均を上回っているが、「図形」が全国平均を下回っており、中でも「合同」のポイントが低い。</p> <p>学 既習事項の定着度に個人差があり、その差が非常に大きい。</p>	<p>○課題解決の過程を重視し、丁寧に正確に取り組む習慣を身に付ける。</p> <p>○全ての児童が一単位時間の学習内容を十分に理解し、既習事項を活用する。</p>	<p>○考え方を交流することに重きをおき、多様な考えに気付かせる。</p> <p>○三展開の児童の実態に合わせて、既習事項の復習を行う。</p> <p>○東京ベーシックドリルを活用し基礎・基本の定着を図る。</p>		
音楽	<p>学 意識をして「聴くこと」については、少しずつできるようになってきているが、感じたことを工夫して表現することが難しい児童もいる。</p> <p>学 音楽の基礎的な力が身につけている児童は多いが、まだ不足している児童もいる。</p>	<p>○「聴く」ことの大切さを学び、意識をして聴き、自分が表現するとき生かすことができるようにする。</p>	<p>○範唱や範奏を聴き、リズムや旋律を演奏するだけでなく、楽曲のよさや演奏の優れているところを感じ取り、表現に生かすことができるようにする。</p> <p>○歌詞を大切にし、表現に生かすようにする。</p>			
図工	<p>学 図画工作科の授業や作ること描くことに対する意欲は高く、意欲的に取り組む。その一方で、学年や発達段階に応じた道具の使い方や技能が身につけていない児童も多い。また、テーマに合わせて発想力を発揮し豊かなイメージを広げる力はやや弱い。</p>	<p>○のこぎりや彫刻刀、くぎ打ち等安全指導が必要な道具について経験を積ませ、思い通りに使えるようにする。</p> <p>○自分のアイディアやイメージに自信を持ち、豊かに楽しんで表現できる力がやや弱い。</p>	<p>○いろいろな道具や材料を扱う経験を保障し、安全指導とともに身につくまで繰り返し題材に取り込む。</p> <p>○イメージを広げるきっかけとなるテーマ設定を精選し、導入や声かけを工夫して児童の想像力を育む授業を行う。</p>			
特支						

調…新宿区学力定着度調査の結果から見える学習状況

学…授業での様子や提出物、作品、ワークテスト等から見える学習の状況

※分量は2ページ以上となってもよい。